

新たな軟X線向け高輝度3GeV級放射光源の整備等について（報告）  
【骨子案】

1. はじめに
2. 国内外の研究動向及び施設動向
3. 科学技術イノベーション政策上の意義
4. 求められる性能等の技術的事項
5. 整備・運用に係る基本的考え方
  - －早期整備の必要性
  - －学術研究や産業利用による最先端の研究成果の持続的な創出
  - －官・民・地域連携による推進
  - －リサーチコンプレックスの形成
  - －産学共創による正のスパイラルの構築 等
6. 整備・運用主体
  - －量子科学技術研究開発機構を整備・運用主体とすることについて
7. 整備・運用に係る具体的なマネジメント方策
  - －基本的な考え方・新たなビームタイム制（共用枠）の導入
  - －共用枠の課題審査・支援等の一元的マネジメント
  - －本格的産学連携の推進について
    - 戦略的産学連携経費等を含む利用料収入の増加方策 等
  - －最先端の放射光科学研究の場を活用した人材育成
8. 整備費用・運用経費について
9. おわりに

中間的整理に  
おいて報告済